

水災害に強い防災まちづくりに向けた取組について

1. 取組概要

本取組は、地域に特化した詳細な気象情報と防災のためのアラート情報をタイムリーに配信・提供する仕組みの構築等を目指すもので、埼玉県入間市をモデル都市とし、市内の主要地点の降水量を主とした防災に係る気象情報の閲覧や、避難指示等の危機管理判断を支援する基礎情報（浸水発生の見通し等）を配信するシステムの構築に向けた検討を行っています。（株）東京設計事務所が（株）スカイデータ、シスメット（株）と共同して進める研究開発において、入間市危機管理課が情報提供や試行運用・評価等を行う、官民が連携した取組みです。



- 過去の被害履歴等の提供 ※令和5年度：システム試行運用・評価
- 気象避難支援システム ※令和5年度：試用版



2. 期待する効果

水災害における避難指示の発令等の危機管理判断は、これまで、職員が必要な気象情報等を閲覧・収集・分析し、対応してきました。このうち、「収集・分析」を自動化することで、迅速な危機管理判断への寄与が期待されます。

また、「浸水発生の見通し」は、気象庁が発表する警戒レベルを踏まえて段階的に設定することで、的確な危機管理判断への寄与が期待されます。

- (株)東京設計事務所 <https://www.tokyoengicon.co.jp/>
- (株)スカイデータ <http://www.skydata.co.jp/>
- シスメット(株) <https://www.sysmet.jp/>

参考：気象庁が発表する警戒レベルと気象情報、自治体対応等の関係

気象状況	気象庁等の情報		市町村の対応		住民がとるべき行動	警戒レベル
数十年に一度の大雨	大雨特別警報	災害切迫	氾濫発生情報	緊急安全確保 <small>※必ず発令される情報ではない</small>	命の危険 直ちに安全確保！ <small>・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。しほり場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。</small>	5
大雨の数時間～2時間程度前	土砂災害警戒情報	危険	氾濫危険情報	避難指示 第4次防災体制 <small>(災害対策本部設置)</small>	危険な場所から全員避難 <small>・台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。</small>	4
	高潮特別警報	警戒	氾濫警戒情報	高齢者等避難 第3次防災体制 <small>(避難指示の発令を判断できる体制)</small>	危険な場所から高齢者等は避難 <small>・高齢者等以外の人にも必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。</small>	3
	大雨警報 ※高潮警報に切り替える可能性が高い	注意	氾濫注意情報	第2次防災体制 <small>(高齢者等避難の発令を判断できる体制)</small>	自らの避難行動を確認 <small>・ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。</small>	2
大雨の半日～数時間前	大雨注意報	注意	第1次防災体制 <small>(連絡要員を配置)</small>	災害への心構えを高める	1	
大雨の数日～約1日前	早期注意情報 <small>(警報級の可能性)</small>					

※ 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、警戒レベル3(高齢者等避難)に相当します。 「避難情報に関するガイドライン」(内閣府)に基づき気象庁において作成